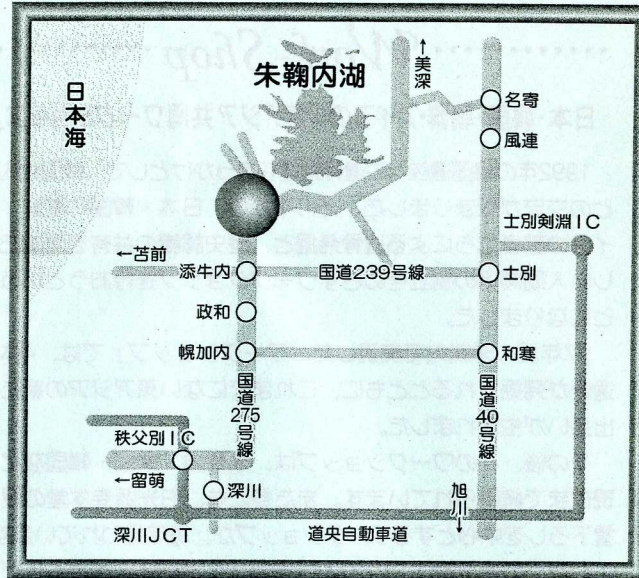


..... Access



■ JR・バスをご利用の方 (JR深川駅・名寄駅から)
JRバス深名線「三股(みつまた)」下車、徒歩約3分。

■ お車をご利用の方
国道275号線を幌加内町朱鞠内にむかい、朱鞠内市街より朱鞠内湖畔方向へ約1.5km。

しゅ まり ない さ さ ほ ひ ょ う て ん じ か ん
朱鞠内・笹の墓標展示館
 館長：田中富士夫
 〒074-0742 雨竜郡幌加内町朱鞠内
 TEL/FAX: 0165-38-2017

 そ ち み ん し ゚ し こ う ざ
 空知民衆史講座 代表：殿平善彦
 〒074-0141 深川市多度志630 一乗寺気付
 TEL: 0164-27-2359 FAX: 0164-27-2890
 http://www.geocities.com/shumarinai
 E-mail: tompei@cocoa.ocn.ne.jp

「空知民衆史講座」主な刊行・関連書籍

- 1978年 『民衆の歴史に光を』(絶版)
- 1982年 『はるかなる海峡—蔡晚鎮物語—』森岡武雄著
- 1984年 『こどもたちのヒロシマー—広島原爆資料北空知展—』(絶版)
- 1985年 『霧の中の祖国』森岡武雄著
- 1986年 『笹の墓標』(絶版)
- 1994年 『和解のかけ橋—統笹の墓標—』1,500円
- 1996年 民衆史ブックレット『朱鞠内と強制連行・強制労働』(絶版)
- 1999年 民衆史ブックレット
『出会う・掘る・学ぶ—'97日韓共同ワークショップ』 900円
- 2000年 『笹の墓標』森村誠一著(光文社) 朱鞠内を題材として
- 2004年 『若者たちの東アジア宣言』殿平善彦著(かもがわ出版) 1,300円



笹の墓標展示館

ささのぼひょうてんじかん



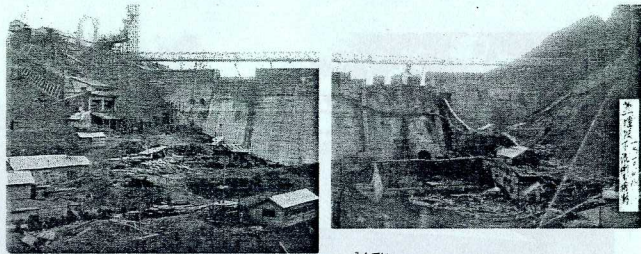
朱鞠内へようこそ!



.....History.....

名雨線鉄道・雨竜ダムの建設と強制労働

アジア太平洋戦争の時代、ここ朱鞠内は強制労働の現場でした。旧深名線（1995年廃止）の一部であった名雨線鉄道工事（1935-1939）と、雨竜ダム建設工事（1937-1943）には、数千人のいわゆるタコ部屋労働者と、約3000人の朝鮮人強制連行労働者が過酷な労働を強いられ、多くの犠牲者を出しました。



（建設当時のダム堰堤全景）

工事で犠牲となった人々の数は、日本人168名、朝鮮人45名にも上ります。死亡原因は、栄養不良と過酷な労働によるものが大半でした。犠牲者の年齢は、おおむね20歳代、30歳代という若さでした。

1976年に発足した空知民衆史講座は、朱鞠内共同墓地周辺の笹やぶに埋葬されている犠牲者の遺骨を発掘し、遺族に返還する活動を進めてきました。91年には「生命の尊さにめざめ



（旧・光顕寺の位牌）

民族の和解と友好を願う像（願いの像）」を建立しました。93年から旧光顕寺本堂などの歴史的建造物の保存と展示館の開設、ブックレットなどの発行、さらにはこれらを活用した学習活動や集会、コンサートなど、さまざまな活動を多くの人々の協力に支えられながら取り組んでいます。

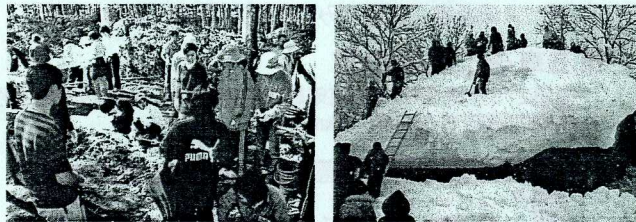
.....Work-Shop.....

日本・韓国・朝鮮・アイヌの「東アジア共同ワークショップ」

1992年の韓国遺族への遺骨返還をきっかけとして、韓国の人々との交流が深まりました。その中から、日本・韓国・朝鮮・アイヌの若者たちによる遺骨発掘と、歴史認識の共有を含めた新しい人間関係の樹立をめざすワークショップを行おうということになりました。

97年夏の朱鞠内で実現した「ワークショップ」では、4体の遺骨が発掘されるとともに、これまでにない東アジアの新たな出会いが生まれました。

その後、このワークショップは、朱鞠内・大坂・韓国などで現在まで続けられています。また冬にも、旧光顕寺本堂の屋根雪下ろしを中心とするワークショップが、毎年行われています。これまでの参加者はのべ1000人を超え、その輪は大きく広がっています。



朱鞠内・光顕寺・民衆史のあゆみ

- 1935年 名寄～朱鞠内間、名雨線鉄道工事開始。
- 1937年 朱鞠内で、王子製紙が北大から買収したこの地に水力発電ダムの建設工事を開始。飛鳥組請負で始まる。
- 1943年 雨竜ダム完成。当時の新聞は「東洋一のダム」と報道。
- ◇ ◇ ◇
- 1976年 「空知の民衆史を語る会（空知民衆史講座）」結成。朱鞠内での歴史掘りおこし運動始まる。
- 1980年 第1回朱鞠内工事犠牲者遺骨掘りおこし。以降、83年まで毎年継続。合計16体を発掘。
- 1982年 空知民衆史講座、初めて韓国の遺族を訪問。
- 1991年 「生命の尊さにめざめ民族の和解と友好を願う像」建立。
- 1992年 韓国の遺族へ遺骨を返還。天安の「望郷の丘」に納骨。
- 1995年 「笹の墓標展示館」開館。JR深名線（深川～名寄）廃止。旧光顕寺で追悼コンサート開催。
- 1997年 第1回「日韓共同ワークショップ」開催。230名の参加で、犠牲者の遺骨4体を発掘。以降、毎年夏冬に日韓で交互に開催。
- 2001年 「01 東アジア共同ワークショップ」で、犠牲者の遺骨2体を発掘。

.....Museum.....

過去を心に刻む「朱鞠内・笹の墓標展示館」

「朱鞠内・笹の墓標展示館」は、空知民衆史講座が旧光顕寺本堂に開設している、雨竜ダム工事と朝鮮人強制連行の歴史を展示した資料館です。

光顕寺は真宗大谷派説教所として、1934年に建立されました。地元の人々の信仰を集めていましたが、戦後の朱鞠内大火や過疎化で檀家が減って廃寺となり、空知民衆史講座が管理することになりました。

現在、この建物は歴史学習と東アジアの若者たちの交流の場として活用されています。また、展示館には犠牲者の位牌とともに、空知民衆史講座と東アジア共同ワークショップの若者たちによって発掘された副葬品が展示されており、工事や発掘の様子などが、壁一面にパネル展示されています。

***入館料は無料ですが、来館の際には、芳名録にご記帳の上、お気持ちを正面の募金箱に入れていただければ幸いです。**

.....Nature.....

合宿、研修にご利用ください。

「笹の墓標展示館」には、研修に使える本堂や宿泊用の部屋、台所、風呂があり、50人までの利用が可能です。歴史の勉強と自然の中でのキャンプにご利用ください。

「朱鞠内子どもの森」

深い森と湖の朱鞠内は、子どものあそびの天国です。夏と冬「朱鞠内子どもの森」が開催されます。

希望者は講座事務局までご連絡ください。